

2人に1人が“がん”を経験する時代。

目の前の患者さんを

治したい、希望をかなえたい。

その気持ちに応えるべく

J-TOPは「チーム医療」を軸に、

実力と仲間が得られる

最高のプログラムを提供します。

私たちとともに、

がん医療を支えましょう。

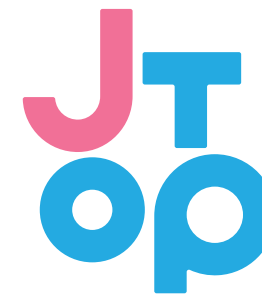
「チーム医療」には、医療従事者と患者

双方の参加と理解が欠かせません。

一人ひとりの人生、そして幸せに寄り添う

がん医療を実現するために、

J-TOPはあなたの熱意を必要としています。



Japan TeamOncology Program

ジャパンチームオンコロジー
プログラム



がんにおける
「チーム医療」には、
あなたの力が必要です。



Japan TeamOncology Program

一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト 事務局
メッドコア・アソシエイツ株式会社内

MAIL secretariat@teamoncology.com

HomePage <https://www.teamoncology.com/>

Twitter https://twitter.com/jtop_workshop

Facebook <https://www.facebook.com/TeamScienceOncologyWorkshop>

YouTube <https://www.youtube.com/user/TeamOncology/>



ご寄付のお願い

J-TOPは皆様のご支援を受け、より広範ながん教育を展開していく所存です。
お力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。(詳細はHPをご覧ください)

<https://www.teamoncology.com/>

J-TOPは、医療側と患者側の 全ての力をひとつに束ね、 がんチーム医療の実践を支えます。

がん患者、あるいはがん患者と関わるご家族・ご友人の皆様へ。
Japan TeamOncology Program (以下J-TOP)は、周囲の深い理解に助けられながら、より良いがん医療の実現を目指しています。

目標とするのは「自分らしく、かつ質の高い生活」です。
がん医療は、医療従事者だけで推し進めるべきではなく、推し進められるものでもありません。皆様もチームの一員であり、その参加が思わぬ発見とイノベーションを起こせるのです。

J-TOPとともに歩んでみませんか。

一緒に活動できることを、楽しみにしています。



J-TOP創始者:上野 直人

(テキサス大学 MDアンダーソンがんセンター
腫瘍内科 教授)

— Japan TeamOncology Programとは —

J-TOPは、日本のがん専門医療従事者を対象に、MDアンダーソンがんセンターの先進的かつシステムチックながん治療の集学的アプローチをご紹介します。がんのチーム医療(チームオンコロジー)の普及と、患者さんががんチーム医療の中心的な参加者となるための支援を目的としています。

— J-TOPのビジョン —

チームサイエンスの推進と社会に開かれたコミュニケーションを通じ、患者だけでなく、非医療者、各分野のステークホルダーの参加するがんチーム医療を実現します。

— J-TOPのミッション —

リーダーシップおよびキャリア形成に関する最高品位の教育プログラムを提供し、患者中心のがんチーム医療を推進するオンコロジー・リーダーとしての能力・技能・行動力を育てます。

J-TOPがなければ 今の私はありません。



医師:下村 昭彦 (J-TOP日本側議長・JME 2014生)
国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科

J-TOPは「患者さん中心のチーム医療」の実践を学ぶ組織です。
医療者が教育を受けることは、患者さんに最も良い治療を届ける最短の方法です。獲得したスキルを活かし、メンバーはそれぞれの分野の第一線で活躍しており、私もここでリーダースキルとキャリアを積み上げるノウハウを学びました。ぜひ、より多くの医療従事者に経験していただき、目の前の患者さんに、そしてご自身のキャリアに活かしていただきたいです。



あなたの熱意を行動に変える 第一歩を踏み出しませんか。

JME(Japan Medical Exchange Program)2016年度メンバー

医師:尾崎 由記範、吉井 由美、三浦 咲子
看護師:藤原 登茂、山上 睦実
薬剤師:島 久美子、松本 奈都美

「がん医療をより良く変えたい」、その思いに満ちた熱い仲間たちとの出会いが、挑戦する勇気と覚悟を学ばせてくれました。独りではできなくても、繋がればできることがあります。J-TOPで、私たちと一緒に新たな可能性の扉を開きませんか?



患者としてワークショップを 約10年の間、支えてきました。

がんサバイバー:ゴンザルボ・ピンジー
(Livestrong Leader)
大学教育講師

J-TOPのプログラムを通じ、がん患者は医療従事者と対等なパートナーとしてチームを組んで、自身の治療への積極的な取り組みを学びます。精神面・経済面を含めた患者への幅広いサポートが実現しつつあることは素晴らしい成果です。

日本中に、この素晴らしい チーム医療を広めたい!



がんサバイバー:広瀬 真奈美
(2013年 1st Leadership Academyから参加)
一般社団法人がんサファティネス 代表理事

安心できるチーム医療がそばにあれば、遠慮なく思いを伝え、「希望」をもって積極的に治療に臨みます。だからこそ様々な問題を熱心に考え、対話を重ね、各々がリーダーシップを育ててチームを作り上げるJ-TOPは非常に重要な存在です。

活動内容

1 チーム医療ワークショップ



多職種が関わるだけでは、良いチーム医療は提供できません。コミュニケーションスキルなど、個人の成長が必要です。J-TOPは医療人を育てるワークショップを提供します。

2 Japan Medical Exchange (JME)



MDアンダーソンがんセンターへの短期留学プログラムです。現場でチーム医療を知ることでワークショップの学びをさらに深め、医療人、リーダーとしての資質を養います。

3 オンライン掲示板



患者さんやご家族が体験を分かち合い、医療者より円滑にコミュニケーションできるよう…そのサポートのため、オンライン掲示板をウェブ上で運営しています。

4 プロジェクトECHO ONE



「ガイドラインを超えた“コツ”の情報共有」「燃え尽き予防プログラム」など、地域の医療者と専門家を繋いで治療内容の改善を目指す、オンライン勉強会です。